

新刊案内

信州の本屋と出版 江戸から明治へ

著者 中央大学教授 鈴木俊幸

江戸時代から明治20年にかけて、長野県には何処に、どんな本屋があったのだろうか。各地に残る古記録、古書、摺り物を調査。県内の本屋とその営業活動、出版活動をうきぼりにした一冊。



地域別（佐久郡、小県郡、諏訪郡、伊那郡、筑摩郡、安曇郡、更科郡、埴科郡、高井郡、水内郡）、時代順におよそ900点を掲載。他に類をみない詳細な目録として活用できる。

目次

- 一 江戸時代の信州と本屋
松本城下の賑わいと本の文化
善光寺町の本屋
その他の地域の本屋
- 二 筑摩県と長野県の時代
筑摩県の明治
明治初期の長野県
- 三 明治十年代の長野県
松本の様子
長野町の繁栄
信州各地の本屋
- 四 資料

「文化十三年江都紀行」
「年中日次之記」（明治11～13年）
「日真事誌」（明治18年5～7月）
「信州の出版目録」

資料編の「文化十三年江都紀行」は仕入で上京した旅日記であるが、江戸の文化人たちとの交流記録としても貴重。また、巻末の「信州の出版目録」は

〒390-0811 松本中央2-2-6

有限会社 高美書店

TEL0263(32)0250 Fax0263(32)5852

FAX 注文書 [FAX:0263-32-5852]

お客様の〒

出版&発売 高美書店	注文数
信州の本屋と出版 江戸から明治へ	
A5 版上製 417 頁 定価 [本体 4,800 円+税]	冊

住所

ご氏名

電話

()

必要書類（該当に○をしてください。）

・見積書 ・納品書 ・請求書

請求書の宛名

ご担当者名